

茨城県日中友好協会
会長 川津 隆

〒310-0011茨城県水戸市三の丸
1-1-42駿優教育会館6F
TEL 029-350-1231
FAX 029-350-1232
E-mail: info@jcfa-ibaraki.net

2021年1月15日発行

日本と中国 茨城版



一衣帯水、同舟共済 新時代を担う日中友好の架け橋へ



茨城県日中友好協会名誉会長
茨城県知事 大井川 和彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当協会は、本年、設立二十五周年を迎えることとなりました。皆様方には、長年におたり日中友好の活動に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世界的に感染が拡大しております新型コロナウイルス感染症の影響により、人の往来が困難になる中、友好関係を発展させるためには、両国の想いを繋ぐ取組が極めて重要であると考えております。

このため、当協会では、川津会長、五十嵐理事長のもと、昨年二月には、県、日立市と連携し、感染が深刻化した中国へマスクを寄贈し、その後、国内の感染が拡大した際には、中国からマスクを返礼いただき

くなど、共に手を取り合い、困難に立ち向かっているところ

です。また、「パンダアートコンテスト」といった新しい取組を端緒に、本県が目指すジャイアントパンダの誘致への機運を高めるなど、新たな視点から日中友好の草の根活動を牽引しております。

一方、県におきましては、県上海事務所やオンラインを最大限活用しながら、中国とのビジネス展開などに取り組んでいくところであり、引き続き、関係者で歩調を合わせ、両国の交流の更なる活性化に努めてまいります。

会員の皆様をはじめ関係各位には、国際的な人の往来が本格的に再開した際、従前にも増して両国の絆が深まりますよう、より一層のご支援、

ご協力をお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となる



日中友好の牽引役として あらゆる分野で 両国の交流を一層深めよう

茨城県日中友好協会会長

川津 隆

明けましておめでとうございます。皆様には日頃から日中友好の架け橋として、両国の交流推進に格別のご尽力を賜っておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人の往来が困難になる等、人的友好交流が難しい一年となりました。

我々日中友好協会といたしまして、日中関係を発展させるためには、両国の想いを繋ぐ取組が重要であると考え、在宅でも参加できる事業として日中友好のシンボルであるジャイアントパンダをテーマとしたパンダアートコンテストを全国的に開催する等、新たな取り組みで友好活動を行い、草の根交流の促進を行ってまいりました。更に各地区

りますことを心よりお祈り申し上げます。

日中友好協会においてはコロナ禍の中、さまざまな企画をして友好交流活動を継続しておられることは素晴らしい事です。

なお、本年は、当協会の設立二十五周年の節目の年でもあり、当協会といたしましては、会員の皆様や関係団体のご協力を賜りながら、本県における日中友好の牽引役として、経済をはじめ教育、文化等あらゆる分野で両国の交流を一層深められるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

▼パンダアートコンテスト

高校生の部 最優秀賞

小塚 咲樹さん

(県立日立商業高等学校) 画



「日立で遊ぶパンダ」



悲観は気分、楽観は意思

一般社団法人

茨城県経営者協会会長

寺門 一義

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的に社会・経済活動が大きな打撃を受け、ビジネスや働き方、暮らしにおいて、従来スタイルからの変革が求められた一年でありました。

コロナ禍以前の両国は、特にビジネスや観光において良好な関係が構築され、当県においても茨城空港を起点とした交流が積極的に進められていた矢先、交流に水を差す状況となり残念でなりません。我々を取り巻く環境は、感染拡大の懸念、国内外の政治



民間外交の役割を果たし、 更なる友好関係の前進を

連合茨城会長

内山 裕

明けましておめでとうござ

動向等、日々大きく変化し、ややもすると悲観的な気分になりがちです。

私の哲学者アランの言葉に「悲観は気分、楽観は意思」があります。「悲観主義は気分によるもの、楽観主義は強い意思によるもの」の意であり、困難な状況だからこそ、我々は強い意思を持つて前向きに、そして今できることを着実に実践し、舵取りを進めていかなければならないと感じております。

こうした中、内外から求められる貴協会の果たす役割は大きく、益々のご発展を期待しております。

本年が両国にとって稔り多い年となります事を心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

います。皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し

上げます。

さて、昨年は「コロナ禍」の中で各種取組みにも制約があり、難しい運営を余儀なくされた中でも各方面で様々な取り組みが行われました。日中両国の友好関係や経済交流を継続することは、将来に向けた新たな友好関係を維持・発展させていく上でも、極めて重要な事であると思えます。



あらゆる分野で これまで同様友好関係を 築きあげていこう

茨城県農業協同組合中央会会長

八木岡 努

令和三年を迎えまして謹んで新年のお慶びを申し上げます。

佐野 治 前会長の後を受け、昨年六月よりJA茨城県中央会の会長に就任いたしました八木岡でございます。前会長同様よろしくお願い申し上げます。

さて茨城県日中友好協会ではこれまで、行政をはじめ各地区協会、各種団体の皆様のご尽力により、民間レベルにおいて教育、環境、農業分野等への視察受け入れや文化芸術事業の実施など、多種・多

同時に雇用環境も多様化している中で、外国人労働者の人権尊重や権利保障等の体制整備も求められています。

私たちが自らができることを実践すると共に、日中友好協会が民間外交の役割を果たし、両国の友好関係が益々発展される事をご祈念し、新年のご挨拶と致します。

あらゆる分野で これまで同様友好関係を 築きあげていこう

様な交流事業を展開し着実に友好関係を築いて参りました。一方昨年は、新型コロナウイルスの影響により国境を超えた人や物の移動制限に加え、新たな冷戦と呼ばれる米中貿易競争がハイテク分野を中心に過熱化するに至りましたが、親中派のバイデン新政権の誕生により良好な関係に進展す

ることを期待するところです。令和三年においてもコロナウイルス感染症拡大の影響が収まらず、両国間の自由な往来が困難な状況にあることにより変わりますが、我が国にとつて政治・経済両面における中国との関係強化は必須であり、このような時だからこそ民間外交が重要になってくると考えております。

これまで同様、日中友好に携わる人々の弛まぬ努力により友好関係を築き上げていくことが肝要であるとともに、その延長において習近平国家主席の来日や本県農畜産物の輸入規制の撤廃、またパンダ招へい等が実現されるのではと期待をしております。今後とも茨城県日中友好協会が日中両国の友好関係について大いなる役割を果たすことを期待し、ご挨拶いたします。

中国語スピーチコンテスト第一八回茨城県大会開催

小野さんが見事スピーチ一般の部最優秀賞受賞

し開催されました。

当日は十六名の発表者が朗読部門、スピーチ部門に分かれそれぞれ中高生、大学生・大学院生、一般の順で日頃の

その後審査委員長から全体の講評があり、引き続き入賞者の発表が行われ表彰に移



アトラクションの様子

午前中で発表が終わり昼食アトラクションをはさみその後、審査委員会（委員長水戸市国際交流協会王偉亜事務局長）が別室で慎重に審査した結果別記のとおり部門別に最優秀者四名、優秀者四名、特別賞一名が選ばれました。



発表中の様子

練習成果を競いあいました。



審査委員と受賞者の皆さん

なお、本年一月東京で開催される第三八回全日本中国語スピーチコンテスト（公益社団法人日中友好協会主催）に朗読部門の最優秀者、スピーチ部門の最優秀者四名が推薦されました。



表彰式の様子

り森県日中協会常任顧問から各入賞者にそれぞれ賞状と賞品が手渡されました。

受賞者一覧

【朗読部門】

○中学生・高校生の部

最優秀賞 丸山 月羽

優秀賞 浅野 璃子

優秀賞 糸賀 千尋

優秀賞 小西 海羽

○大学生・院生の部

一般の部

最優秀賞 藤井 由佳

優秀賞 西浦 光枝

【スピーチ部門】

○中学生・高校生の部

最優秀賞 鈴木あいり

○大学生・一般の部

最優秀賞 小野 二葉

【特別賞】 田村 凜



全国大会へ推薦された4名

全日本中国語スピーチコンテストで丸山さんが最優秀賞受賞

第三十八回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会が一月十日（日）東京の日中友好会館で開催予定でしたが、東京都の感染拡大状況は厳しく、国からの緊急事態宣言も発出されたため、出場者の安全と感染拡大防止を第一に考慮し、「大会は実施せず、都道府県大会の音源を改めて審査し、全国大会の順位を決定する」と審査形式を変え審査が行われました。

パンダアートコンテスト開催

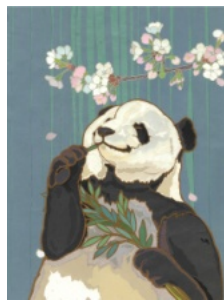
立石朋美さんが一般の部で最優秀賞受賞

この結果、朗読部門高校生在宅でも参加できる事業としてパンダアートコンテストを開催し、昨年十月十七日（日）水戸市三の丸の水戸駿優教育会館にて、表彰式を行いました。

北海道から沖縄県まで、作品応募総数六二二作品の中から、小学生低学年の部・大河原由愛さん、小学生高学年の部・大場日菜さん、中学生の部・柴田陽向さん、高校生の部・小塚咲樹さん、そして一般の部・立石朋美さんがそれ

の部で東洋大附属高の丸山月羽さんが見事最優秀賞を受賞併せて孔子学院賞を受賞しました。

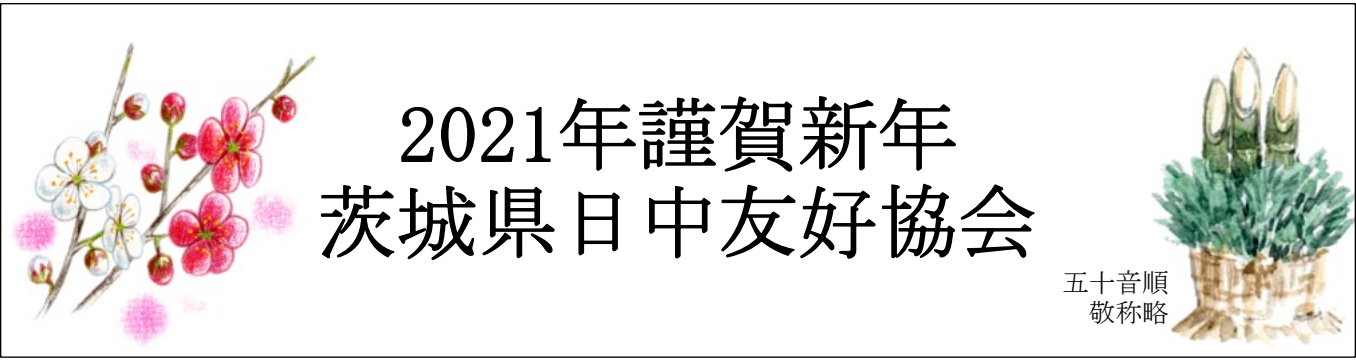
なお、朗読部門（大学生・大学院生の部）に出場した藤井由佳さんは優秀賞、スピーチ部門（高校生の部）に出場した鈴木あいりさんは第二位受賞と国際文化フォーラム賞を受賞しました。本県から四名の出場者中三名が入賞することは全国一位（愛知・千葉と同じ）でレベルの高さを証明しています。更なる活躍が期待されます。



「今度は一緒に」

▼一般の部最優秀賞受賞作品

詳細・各部門受賞者作品は「日本と中国茨城版」45号にて掲載



2021年謹賀新年 茨城県日中友好協会

五十音順
敬称略

加藤 仁郎	茨城県日中友好協会副理事長	小宅 清史	茨城県日中友好協会青年委員会委員長 那珂市日中友好協会副理事長	小田 部卓	茨城県日中友好協会副会長 （株）茨城新聞社代表取締役会長	梅澤 正紀	水戸市日中友好協会事務局長	内山 裕	茨城県日中友好協会副会長 日本労働組合総連合会茨城県連合会会長	岩田 光造	茨城県日中友好協会副会長 茨城労働組合総連合会茨城県連合会会長	市村 博之	茨城県日中友好協会常任理事 （株）水戸駿優予備学校校長代理	五十嵐 則夫	茨城県日中友好協会常任理事 茨城県日中友好協会常任理事	飯村 陽一	茨城県日中友好協会理事 イガラシ綜業（株）代表取締役	飯島 義秋	茨城県日中友好協会副理事長 茨城能力開発事業協同組合理事長	秋山 進	茨城県日中友好協会理事 水戸市日中友好協会常任理事 （株）秋山工務店代表取締役社長
高野 政夫	茨城県日中友好協会副理事長	高野 貴世	茨城県日中友好協会常任理事 稲敷市日中友好協会会長	高井 英花	茨城県日中友好協会理事 中国武術茨城推進協会理事長	白土 照男	茨城県日中友好協会理事 茨城県日中友好協会常任理事 日立市日中友好協会事務局長	小橋 嘉男	茨城県日中友好協会監事	熊谷 真	茨城県日中友好協会理事 取手市日中友好協会事務局長	木村 芳城	茨城県日中友好協会理事 （株）木村学園認定こども園石岡幼稚園 理事長	木下 貴文	茨城県日中友好協会常任理事 石岡市日中友好協会会長	菅野 長行	茨城県日中友好協会副理事長 ひたちなか市日中友好協会事務局長	川又 保隆	茨城県日中友好協会常任理事 ひたちなか市日中友好協会副会長	川津 隆	（公社）日本中国友好協会理事 茨城県日中友好協会会長
袴塚 孝雄	茨城県日中友好協会副会長 水戸市日中友好協会会長	西野 真幸	茨城県日中友好協会副理事長事務局長	中川 周	茨城県日中友好協会常任理事	寺山 正史	茨城県日中友好協会常任理事 那珂市日中友好協会会長	照沼 重輝	茨城県日中友好協会理事 Top Rights JP Consult（株）代表取締役	寺崎 久美子	茨城県日中友好協会理事	千葉 功	茨城県日中友好協会常任理事 稲敷市日中友好協会事務局長	田山 知賀子	茨城県日中友好協会常任理事 鹿嶋市日中友好協会会長	高濱 孝美	茨城県日中友好協会副会長 水戸市日中友好協会副会長 （公社）日本中国友好協会女性委員 副委員長	高橋 榮子	茨城県日中友好協会副理事長 茨城県日中友好協会女性委員会常任委員 鹿嶋市日中友好協会事務局次長	高橋 榮子	茨城県日中友好協会常任理事 茨城県日中友好協会女性委員会委員長 神栖市日中友好協会副会長
和田 浩美	茨城県日中友好協会監事 中央労働金庫常務理事茨城県本部担当	和氣 安秋	茨城県日中友好協会理事	吉成 好信	茨城県日中友好協会常任理事 茨城能力開発事業協同組合 取手市日中友好協会会長	八木 岡努	茨城県日中友好協会常任理事 茨城能力開発事業協同組合 茨城県中央会・各連合会会長	森 秀男	茨城県日中友好協会副会長 J A 茨城県中央会・各連合会会長	宮崎 泰司	茨城県日中友好協会副会長常任顧問 日立市日中友好協会会長	宮本 正枝	茨城県日中友好協会副会長 潮来市日中友好協会会長	藤井 生美	茨城県日中友好協会理事 日立市日中友好協会副会長	深川 忠義	茨城県日中友好協会副理事長 ひたちなか市日中友好協会会長	廣瀬 尚武	茨城県日中友好協会副会長 茨城能力開発事業協同組合 取手市日中友好協会名誉会長	島山 正裕	茨城県日中友好協会副会長 茨城県日中友好協会名誉会長